

も どうし

# 議会だより

No.13

平成24年1月1日発行

日本一の水源の郷をめざす道志村



みなもと体験館 正月飾り教室

- 新年のあいさつ ..... 2～3
- 一般質問（ここが聞きたい） ..... 4～6
- あの一般質問は・今（道志の湯の民営化） ..... 10
- 紹介／がんばる人紹介 ..... 11～12

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

# 新年のごあいさつ

道志村議会議長 佐藤喜章



新年明けましておめでとう御座います。輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申しあげます。村民の皆様には、健康やかに新春を迎え、夢と希望に満ちた幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。

日ごろより議会の活動に対し、御理解と御協力を頂き厚くお礼申しあげます。

昨年は東日本の大震災を始め、台風12号、15号などの自然災害が多く発

生いたしました。道志村では人的な被害が無く不幸中の幸いでしたが、堤防の決壊、土砂崩れなどの被害に合われた皆様には心からお見舞い申し上げます。

災害の際、近所、隣の結びつきが大切だということが本当に分かった1年でもありました。私たちの村でも、少しずつそのことが薄れてきているように思われます。

津波の被害を受けた、南三陸町のボランティア活動に村の有志の皆さんと一緒に参加いたしました。テレビなどで見る

よりは、その風景を自分の目で見ると、こんなことが現実なのかと本当に

驚き、このようなことが起きないよう祈るばかりでした。

さて村でも道の駅どうし、水源の森に続き福祉センターの民営化が11月よりスタートしました。

議会でも多くの議論を重ね、村民の福祉向上が図れるという結論に達しました。今後は福祉の後退とならないようしっかりと見守ってまいります。また、オープンして20年

になり、民営化として、年々お客様が減ってきましたので、リニューアルオープンをめざし工事中です。

今年の春には、生まれ変わった道志の湯を楽しむにご利用していただき

い。

日本、世界を見ましても、不確定、不安定なことが目に多く付きますが、その情報を捕らえ、明るい日差しが見えない状況ですが、しっかりと前を向いて進む所存です。今まで以上の御支援と御協力をお願い致します。



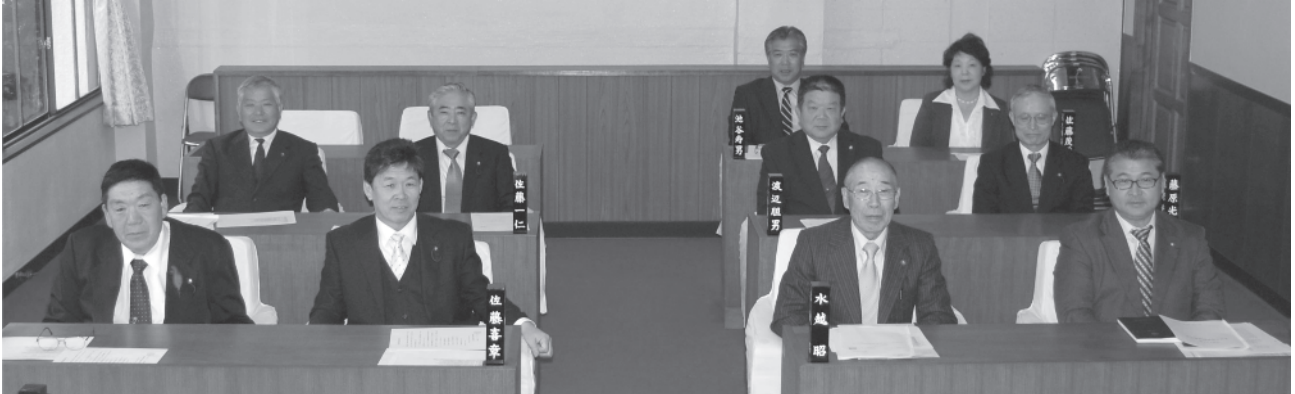
謹んで新年のお慶びを申しあげます



議会議員（議席順）

- |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|
| 議 | 議 | 議 | 議 | 議 | 議 | 議 | 議 | 副  | 議 |
| 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 議長 | 長 |
| 佐 | 湯 | 佐 | 渡 | 藤 | 白 | 水 | 杉 | 池  | 佐 |
| 藤 | 川 | 藤 | 辺 | 原 | 井 | 越 | 本 | 谷  | 藤 |
| 茂 | 六 | 一 | 胆 | 光 | 勝 | 昭 | 秀 | 寿  | 喜 |
| 美 | 昭 | 仁 | 男 | 政 | 光 | 昭 | 明 | 男  | 章 |

# 委員長 新年のごあいさつ



## 議会運営委員長 渡辺 胆男

明けましておめでとうございます。議会運営委員長を仰せ付かり、先進地の行政視察に参加させて頂き議会運営の難しさを改めて感じました。先進地では議会基本条例や通年議会等、いろいろな議会改革に取り組んでいます。道志村議会としても改革を進める所存ですが、議員一人一人の資質の向上が議会改革への一番の早道だと思います、村民の皆様方のご意見を拝聴し、公平・公正な議会運営を行いたいと思います、皆様のご協力宜しくお願い致します。

## 総務文教常任委員長 佐藤 茂美

謹んで新年のお喜びを申し上げます。村政発展の為、微力ではありますが努力している所です。さて少子高齢化など大変な時期であることは皆様もご承知の事と存じますが、人々の絆を深め、5年10年先をみすえ、県下で誇れる村政を目ざして全員で、明日に向かうことが必要かと思えます。道志村に生まれ、そして村民の一人として誇れる村づくりを第一に考え、皆様方の素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

## 広報常任委員長 杉本 秀明

新年明けましておめでとう御座います。謹んでお祝い申し上げます。昨年は日本全国多難な年となりましたが、今年は少しでも良い年になればいいなと思うところです。私も広報常任委員長として、皆様に親しまれ、愛読される「議会だより」を作って行きたいと思っています。今は山梨県町村議会広報研究協議会に参加させて頂き、視察や、編集研修を繰り返し勉強させて頂いています。どうぞこれからも宜しくお願い致します。



## 建設厚生常任委員長 湯川 六昭

新年おめでとうございます。今年が村民にとって、幸せな年になりますことを心よりお祈り致します。昨年は東北大震災や、それによる津波、原発事故による被害などかつて無かった事でした。本村においても、2度の台風による大雨は人家まで巻き込み、至る所で護岸決壊や道路山林崩落などありました。「安心安全の村づくり」を目指す道志村にとってかつてない、危険感を持ったと思います。また村の9割をしめる山林が人家まで近付いた荒地、ひとたび山林火災になると広域的被害が発生するのではと不安です。出来ることには限りがありますが、少しずつでも行動していかなければと思います。

# 台風の影響状況と復興期間は



## 問

■ 台風の被害状況と復興期間は

■ 野原・月夜野間バイパス化について

■ 平成24年度予算について

## 答

● 台風の被害総額は約60,000千円

● ルート案等について県の回答待ち

● 若干縮小した予算規模を想定。またソフト面に比重を置く

## 問

台風の被害状況と復興計画は

今年9月の台風12号、15号の被害状況は。

また、内容、件数、金額及び復興期間は。

## 答

産業振興課長

台風復旧に関しては単

独災害復旧と補助事業に区別され、単独災害復旧はほぼ完了しています。

補助事業に関しては、山梨県申請分も含め、国の災害査定終了後に決定されます。被害総額は約6千万円でした。

## 問

トンネル化の進展は

野原・月夜野間のバイパス化について、その後の進展は。

## 答

産業振興課長

この区間の現地調査が

実施され、その調査結果により、住民の利便性や利用者が安全、かつ安心して走行できるトンネル

のルートが現在、検討されていますので、トンネル掘削の工法やルート案が提示できる段階になりましたら、山梨県により関係者への説明がされるので、県の結果待ちとなっています。

## 問

来年度予算の規模と重点施策は。

平成24年度の予算規模はどのくらいか。又、重点施策は何か。

## 答

村長

昨年度より若干縮小した歳入歳出予算の規模が想定されます。来年度は「ソフト」へ比重をかけたいきたい。特に、森林資源の保全と活用、この仕組みを本格化していきたいと思っています。ま

「再質問あり」

た、高齢社会に向けての、コミュニケーションの重要性、高齢者などの移動手段などの課題に対しても検討していきたいと思っています。



# 福祉センターの運営は



## 問

■福祉センターの民営化の運営状況は

■災害発生時の対応と復旧の進捗状況は

## 答

●利用者は一日平均20名以上が利用できる体制づくり  
●防災計画に沿った役割分担の推進

## 問

福祉センターの指定  
管理の運営状況は

11月1日より、利用者へのサービス向上と、赤字解消を目的として民営化に移行後、現在の状況は。

## 答

住民健康課長

11月の実績で259名利用者がいました。今後一日平均20名以上が利用できる施設の体制づくりと、職員の資質向上を図りながら受け入れ態勢に万全を尽くし、近くで畑を作り、農業を楽しみながら、外出の機会を多く

## 問

災害が発生した時の  
行政の対応は

して楽しくデイサービスが受けられる施設を目指したいとのこと。

当議会も台風災害箇所

の調査を行い、村当局に調査・査定をお願いしましたが、緊急に対策を必要とする箇所もあると思えますが、災害が発生した時の行政の対応と復旧の進捗状況は。

## 答

総務課長

災害発生の可能性が高

まった段階から、大雨注

意報時の第一配備、大雨

警報時の第二配備、防災

計画に沿った役割分担の

なかでパトロールなどの

活動を行っています。今

回、「避難指示」「避難

勧告」という重大な対応

の局面を経験しまして、

反省点もあり、本年度進

めています「防災計画の

見直し」作業に活かして

いく考えであります。

「再質問あり」



運営状況について指定管理者から聞き取りました

# 平成24年度予算編成の基本方針は



## 問

■ 来年度の予算編成は

■ し尿処理対策は

■ 災害に強い道路改良が必要では

## 答

● 経費の効率化と事業の重点化の推進

● 広域処理施設に対して早めの対応

● 国・県に強く要望していく

## 問 24年度予算は

24年度予算の基本方針と重点施策また「いきいきふれあいトーク」の貴重な村民の皆様の意見、提言を来年度予算の、基本方針、施策に生かすべきだと思いますが行政の考えは。

## 答 総務課長

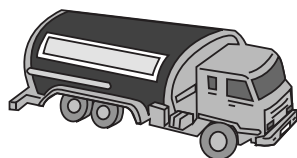
歳出においては経費の効率化を一層図り、事業は重点化を進めて行く必要があると考えています。

## 問 し尿処理対策は

合併浄化槽整備の普及でし尿処理は増加する。この状況を踏まえて、今後どう対処するのか。

## 答 産業振興課長

設置基数は今年度末で



す。「ふれあいトーク」では、様々なご意見をいただいています。厳しい財政ですが、最少の経費で最大の効果を発揮できるように、努力をしなければならぬと考えています。

461基となり、処理量についても平成23年度見込1,520klと年々増加しています。大月都留広域事務組合と、青木ヶ原衛生センターの両施設の合計受け入れ可能量は、2016klとなり、これ以上に増えることも

## 問 災害に強い道路は

考慮して、両施設に対するの受け入れ量について早めの対応をしていきたいと考えます。

## 答 村長

国道413号・県道24号線において、トンネルも含めた安心安全な道路・災害に強い道路改良が必要ですが、国に対して強く要望すべきですが、村長の考えは。

国道・県道とも村の生



命線となる主要道路でありまして、今回の台風時には村外への通行は3方向とも通行できない状態が続きました。今後、命の道として、道路の管理者であります山梨県、更には国へと、トンネル化も含め強く要望し、安心の道路の実現を働きかけていきたいと思っています。

「再質問あり」

# 活 動 報 告

## 議会運営委員長行政視察

平成23年10月24日～25日

### 通年議会で活性化

長野県小布施町議会の(議会改革・議会活性化)視察に行きました。小布施町議会では、平成23年3月より通年議会を開催し、議会の会期を1年間で、議会の委員会が行う審査や調査が、閉会中でも制限なしに自由に行うことが出来る様に改革したそうです。私達も議会活動を進める中で、村民の目線に立ち、議員一人一人の資質向上こそ議会改革・議会活性化への近道だと思います。

議会運営委員長 渡 辺 胆 男



## 議会広報正副委員長研修会参加

平成23年11月10日～11日

### 他町の「ぎかいだより」手法を聞く

石川県津幡町 議会広報委員会の視察に行き、津幡町の議会だよりを題材に苦労している所や、編集などを協議してきました。研修のなかで感じたのは、津幡町では1部26円60銭で、作成されているとの事でした、本村では300円前後です、又表紙の題材を子供達に書いてもらい、その子達の紹介もしていました。

広報常任委員長 杉 本 秀 明



## 山梨県東部広域連合議員として

東部広域連合議員 白井 勝光

### 広域行政の必要性を協議

平成23年6月から山梨県東部広域連合議員として務めております。東部広域連合は三市三村「都留市、大月市、上野原市、道志村、小菅村、丹波山村」が構成団体となり、地方分権の受け皿として広域的な諸課題に対応し、効率的で格差のない住民サービスを提供出来るように、設置された特別地方公共団体です。主な事業は養護老人ホーム大鶴楽生園の運営、要介護認定審査、広域行政推進の調査研究などです。現在、大鶴楽生園の定員60名で現在51名が入所しています。上野原市に設置されている老人ホームです。本村でも老人介護を必要とされる方は、広域連合の施設を利用することができます。広域連合議員、役場職員に相談してください。



# 議案の質疑

H23年第8回議会定例会(12月)

提出された案件について、議員からの意見・要望の一部を紹介します。

## 福祉センターの民営化・その後は

民営化から1ヶ月たち、どう変わったか

**Q**：運営時間の延長、祝祭日及び土日営業について

**A**：祝日は営業するようになりました。

今後、土日営業、時間延長は利用者のニーズにより行います。

**Q**：サービス内容の改善について

**A**：指や体の機能訓練を取り入れたアクティビティー活動。

歩行訓練を取り入れ、機能の回復と維持。

歩行可能な方への車椅子使用等、利用者の介護状況に合わせた介助方法の実施。

手作りの昼食及びおやつを提供。

**Q**：今後の運営について

**A**：機能回復も含め、来春から畑を作り、野菜の栽培をしていく。

機能訓練を積極的に取り込み利用者のADLの維持向上に努める。

地域の学校、ボランティアとの交流を計画する。

今後は、サービスの向上と業務の効率化を図るため、従来の方法にとらわれず継続的な改善を講じていきます。



## 議会の思い

二期8年の任期が半年残りとなりました。私は議会監査委員を約6年間させて頂きましたが、村の財政は3月いっぱいには次年度の予算を立て、4月より執行します。9月の決算監査で、前年度分の議論を行い、色々な問題点や指摘事項を出します。次年度予算の取り組みに生かした、予算案を切に望むところです。

残り任期を精一杯がんばります。村民の皆様も気がついた事がありましたら、ご一報ください。

佐藤 一仁



# 議案等の審議結果

## H23年 第6回 道志村議会臨時会 (10月19日)

議案等番号	件名	審議結果
議案第53号	平成23年度道志村一般会計補正予算(第4回)	原案可決
議案第54号	平成23年度道志村簡易水道事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決
議案第55号	平成23年度道志村浄化槽事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決

## H23年 第7回 道志村議会臨時会 (11月29日)

議案等番号	件名	審議結果
議案第56号	道志村職員給与条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第57号	道志村過疎地域自立促進計画の変更	原案可決

## H23年 第8回 道志村議会定例会 (12月16日)

議案等番号	件名	審議結果
承認第4号	専決処分の承認について(道志村国民健康保険条例の一部を改正する条例)	原案承認
議案第58号	道志村各種委員等報酬並びに費用弁償条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第59号	道志村税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第60号	道志村景観計画策定審議会条例	原案可決
議案第61号	平成23年度道志村一般会計補正予算(第5回)	原案可決
議案第62号	平成23年度道志村国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決
議案第63号	平成23年度道志村国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1回)	原案可決
議案第64号	平成23年度道志村簡易水道事業特別会計補正予算(第4回)	原案可決
議案第65号	平成23年度道志村観光施設等事業特別会計特別会計補正予算(第1回)	原案可決
議案第66号	平成23年度道志村介護保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決
議案第67号	平成23年度道志村浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件	原案可決



## お知らせ

### 消防設備の充実を図る

平成23年度事業で予定していました「水槽付消防ポンプ自動車」が購入されました。これにより、高規格救急車とポンプ自動車が整備され、常設消防の設備が充実されました。



# あの一般質問は今……

平成23年3月定例会

## 質問

道志の湯の民営化について

## 答弁

指定管理者と改善協議を進める

平成22年9月定例会

## 質問

職員の採用について

## 答弁

広い分野に対応できる人材を求めていく

## その結果 今は

**リニューアルオープン 4月1日**

道志の湯は平成23年7月1日に「株式会社どうし」に民営化されました。今年4月1日のリニューアルオープンを目指し、経営改善協議をしながら只今工事中です。工事金額はボイラー施設関連と既存建屋改修工事を併せて総額約1億5千万円です。



## 専門性の高い職員採用も検討

役場職員は現在44名で、24年度の採用予定者は2名です。これからは年度により退職予定者数の多い年もあります。職員採用プランを調査検討し、より専門性の高い職員採用も視野に入れた住民サービスの向上に努めます。



## 議会の考え

- 木質バイオマス活用により、道志の湯は燃料費の削減と森林の環境保全を期待する。
- 職員の採用は道志村の将来を左右するもの。計画的な採用プランを望む。

# 紹介 しょうかい

## 地域防災活動に貢献

池谷 幸昌氏

### 安心・安全な地域づくりのため 長年消防本部で活動



あけましておめでとうございます。私事、37年間の都留市消防本部勤務を終え、昨年3月に退職いたしました。在職中は公私にわたり、ご指導、ご協力を賜りましたことをこの場をおかりして厚くお礼申しあげます。

さて、年頭にあたり地震災害対策における地域防災力について述べさせていただきます。

昨年、東日本大震災が発生いたしました。この震災による被害状況を見ますと、同じ被災地でも地域によって被害状況が大きく異なっていたのは、地域ごとの防災力の差が原因であったことは言うまでもありません。もしもの災害発生時、いかにして被害を最小限に食い止めるかは、地域の防災力にかかっております。

平素より、防災に対する認識、知識を高め、自主防災組織の結成とその活動の中において防災力強化を

図ること。これが災害に強い地域を創る上で一番重要なことです。私は今後、微力ではありますが、37年間の経験が地域の防災力強化に少しでもお役に立てたらと思っております。

最後に、都留市消防署道志出張所に対しまして、以前にもまして、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申しあげまして結びといたします。



# がんばる人紹介 特別企画



災害ボランティア発起人

消防団長 出羽 達彦氏

東日本大震災へのボランティア活動を10月11月と2回に渡り、開催しましたところ合計67名のご参加を頂まして、発起人の一人として大変感謝申し上げます次第です。参加して頂きました方々には、大変ご苦勞様でした。3月11日に起きた地震、津波、そして原発事故と日本国内を揺るがす出来事に、何か手助けできればと思っております。私も消防団長として役職を遂行する中で、このボランティア活動を通して本村に何かひとつでも役立てることがあるか考えるところではあります。又、今年になり機会があれば災害ボランティアを計画したいと思いますのでご協力を宜しくお願い致します。



災害ボランティア発起人

体育協会会長 出羽 芳正氏

東日本大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。災害ボランティア活動にご参加くださいました皆様には、ご協力ありがとうございました。1回目は草刈りと瓦礫のかたづけ、2回目は土嚢つくりを行いました。皆さん車中泊と慣れない長旅でお疲れにもかわからず、一生懸命作業して頂きありがとうございます御座いました。被災地を見て自然災害の恐ろしさを痛感しました。まだまだ復興には時間がかかり、多くの人の手が必要です。次の機会がありましたら、皆様のご協力をお願い致します。

## 写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

### 編集後記

昨年の議会構成変えで、広報常任委員会になりました。約一年半経ちました。お陰様で「議会だよりどうし」も今回で13号の発行となりました。町村会など広報研修にも参加させてもらいまして、少しでも読みやすく、そして親しまれる、「議会だより」にしたいと頑張っているところです。13号は初めて、定例会終了後1ヶ月以内の発行を試みました。今後とも議会だよりを通じて議会活動報告や議会改革、に取り組みたいと思いますので、今後とも宜しくお願い致します。

(杉本秀明)

#### 広報常任委員会

委員長	杉本 秀明
副委員長	渡辺 胆男
委員	池谷 寿男
委員	佐藤 一仁